

菩提樹池と周辺緑地保全作業 タケの除去作業 結果報告

菩提樹池東側の湿地に本来の植生ではないモウソウチクが侵入し数が増えていること、菩提樹田んぼ北側の竹林でテング巢病が蔓延して竹林の環境改善が必要なことから、良好な状態で保全するためにタケの除去作業を行いました。

開催日時：平成23年6月26日（日）午前9時～正午

実施場所：菩提樹池東側の湿地 菩提樹田んぼ北側の竹林

参集範囲：菩提樹池と周辺の緑を守る協定に基づく団体

参加人数：29名

内容と成果：第5回連絡会議でモウソウチクの除去とテング巢病に罹病したマダケの除去が最優先課題となり、除去作業を行いました。

【菩提樹池東側の湿地に侵入したモウソウチク】

湿地のモウソウチクの除去は完了しました。

湿地の周りにはアズマネザサが繁茂していましたが、前回シュロの除去作業の際に生きものに考慮したササ刈りを今回も継続して実施しました。

【菩提樹田んぼ北側のマダケ】

テング巢病に罹病しているため、竹林の環境改善のため、間引きにより光や風が入るようにしました。作業したところ、ほとんどのマダケがテング巢病に罹病していたので、予定よりも多くのマダケを除去することになりました。

課題：湿地のモウソウチクはまた伸びてきますので、前回除去しきれなかったシュロと併せて、生きものの状況を考慮しながら、除去作業を行う必要があります。



作業内容の確認をしています



切ったモウソウチクを処理中



湿地の周りのササ刈り中



作業前のマダケの竹林



マダケが減ってきました



きれいになりました